

日本放射線腫瘍学会 第16回 放射線生物学セミナー 臨床応用を目指して



世話人：小川和彦（大阪大学）
日程：26年3月21日（土）ハイブリッド
会場：沖縄県市町村自治会館（那覇市）
参加登録：<https://radbio16.peatix.com>

【プログラム】

- 10:55 - 開会の辞 山内 智香子 JASTRO 教育委員会 委員長
- 11:00 - 放射線治療中に生じるリンパ球減少の治療成績への影響 石川 仁（QST 病院）
- 11:40 - がんゲノムと放射線治療の双方向の理解を深めよう 平田 秀成（国立がん研究センター東病院）
- 12:20 - ランチョンセミナー 共催：(株)日立ハイテク
座長：芝本 雄太（成田記念陽子線センター）
OXRAY の未知の potential とそれを引き出す実臨床 全田 貞幹（国立がん研究センター東病院）
- 13:20 - 量子生物学の放射線治療への貢献 松尾 政之（岐阜大学）
- 14:00 - 免疫と放射線治療の併用研究 高橋 豊（大阪大学）
- 14:40 - FLASH 放射線治療に向けた生物学的知見 皆巳 和賢（大阪大学）
- 15:20 - イブニングセミナー 共催：合同会社 KORTUC JAPAN
座長：吉田 謙（関西医科大学）
放射線治療増感剤 KORTUC のメカニズム 須田 浩幸（KORTUC）
放射線治療増感剤 KORTUC の臨床経験 新保 大樹（大阪医科薬科大学）
- 16:20 - 放射線生物の知見による放射線治療の適応拡大 秋元 哲夫（慈恵医科大学）
- 17:00 - 閉会の辞 原田 浩 JASTRO 生物部会 部会長
- 17:10 - 18:00 特別企画 Meet the experts
司会：中村 聡明（関西医科大学）

主催：日本放射線腫瘍学会教育委員会、日本放射線腫瘍学会生物部会
当番世話人：小川 和彦（大阪大学大学院医学系研究科）
実行委員長：皆巳 和賢（同上）

【お問い合わせ】第16回放射線生物学セミナー事務局
E-meil：bio.seminar16@gmail.com